

 企業は日本へ帰ってきた。でも「教室」が足りない

● 初級レベル

お金があっても、すぐに工場は増やせない？

ここで少し、学校の話に寄り道してみましょう。

戦後の日本では、子どもの数が急に増えた時代がありました。

子どもが増えれば、学校へ通う子も増えます。

ところが――。

子どもが増えたからといって、次の日に学校を2倍にはできません。

教室が足りない。

先生が足りない。

机やいすも足りない。

校舎も必要です。

つまり、

「学校へ行きたい子どもはいる。でも受け入れる場所が足りない」

ということが起こります。

 今の工場にも、ちょっと似ている

今度は学校を工場に置き換えてみましょう。

ある会社が考えました。

「日本に新しい工場をつくろう！」

お金もあります。

注文もあります。

作りたい商品もあります。

それなら、すぐに工場を建てられるでしょうか？

そう簡単ではありません。

工場を建てる人が必要です。

機械を作る会社も必要です。

電気も必要です。

水も必要です。

土地も必要です。

働く人も必要です。

つまり、

お金だけあっても、工場はつukれない

のです。

 「教室」が足りない

学校なら、

教室

先生

机

校舎

が必要です。

工場なら、

土地

建設会社

技術者

電力

機械

部品

物流

が必要です。

だから今の日本を学校にたとえると、

「生徒は戻ってきた。でも教室が足りない」

ような状態になることがあります。

企業は投資したい。

でも、その投資を受け止める場所や人が足りない。

これが今回の「教室不足」です。

⚡ たとえば電気が足りなかったら？

大きな半導体工場には、たくさんの電気が必要です。

では、工場を建てる土地は見つかった。

建物もできた。

でも、

「この地域では電気が足りません」

となったらどうでしょう。

工場は思うように動かせません。

すると今度は、

発電設備を増やす。

電線を強くする。

変電所を増やす。

といった仕事が必要になります。

ここが面白いところです。

 人が足りなかったら？

工場を建てたい。
でも建設する人が足りない。
工場が完成した。
でも働く人が足りない。
技術者も足りない。
ではどうするでしょう。
給料を上げて人を集める。
人を育てる。
機械やロボットを使う。
仕事を自動化する。
すると今度は、
人手不足そのものが、新しい仕事を生みます。

 足りないものには、次の仕事生まれる

ここがとても大切です。
普通なら、
「足りない＝困った」
で終わりそうです。
でも経済では、
足りないものを増やすために、お金が動く
ことがあります。
電気が足りない。
↓
電力設備を増やす。
人が足りない。
↓
ロボットや自動化設備を増やす。
物流が足りない。
↓
倉庫や配送設備を増やす。
工場の場所が足りない。
↓
新しい工業団地をつくる。
つまり、

「足りない」は、次の仕事の入口にもなる
のです。

もう一度、学校に戻ってみよう

子どもが増えました。
教室が足りません。
困りました。
ではどうするでしょう。
新しい校舎を建てる。
教室を増やす。
先生を増やす。
机やいすを買う。
給食も増やす。
スクールバスが必要になるかもしれません。
つまり、
子どもが増えた
という一つの出来事から、
たくさんの新しい仕事が生まれます。
工場も同じです。

大きな工場の「その次」を見る

ニュースでは、
「巨大半導体工場が完成！」
というところが目立ちます。
でも NIGHT FLIGHT では、その次を見ます。
工場ができた。
↓
電力は足りる？
↓
水は足りる？
↓
技術者は足りる？
↓
部品は足りる？
↓
物流は足りる？

↓

働く人が住む家は足りる？

こうやって、

「次に何が足りなくなる？」

を探します。

すると、

次にどこへお金が流れそうか

も出てきます。

💡 「不足」は悪いことだけではない

もちろん、足りないものが多すぎれば困ります。

工場建設が遅れることもあります。

値段が上がることもあります。

でも、

足りないから増やそう

という動きが始まれば、

新しい設備投資が生まれます。

だから、

不足＝日本復活の邪魔

と決めつけるのではなく、

不足＝次の投資が必要な場所

と考えることもできます。

🌟 初級レベルのポイント

企業が日本へ工場をつくろうとしても、

お金だけでは工場はつくれません。

土地。

人。

電気。

水。

機械。

部品。

物流。

いろいろなものがが必要です。

だから、

企業は日本へ帰ってきた。

でも、その企業を受け入れる「教室」が足りない。

と考えてみます。

そして大事なのは、

「何が足りないの？」

と聞くことです。

足りないものが分かれば、

次にどんな仕事が必要になるか

も見えてきます。

 そして次の「？」へ

教室が足りない。

ならば、教室をつくれればいい。

でも——。

新しい教室をつくる会社にも、

人が必要です。

材料も必要です。

お金も必要です。

そこで次の疑問が出てきます。

「足りないものが増えると、どうして物の値段まで上がるの？」

ここから、

不足 → 値段 → 投資 → 生産力

という次の航路へ進みます。

 寄り道研究所

NIGHT FLIGHT SPECIAL II 【国内編】

● 初級レベル解説でした。

もう少し詳しく、人手不足・電力不足・供給制約と設備投資がどうつながるのかを知りたい方は、

● 中級レベルへ。

 次の寄り道へ、ご搭乗ください。